

広島市新球場（仮称）建設現場見学会を振り返って

復建調査設計（株） 松崎基

今日の見学会、私は技術者として行くべきか、1人のカープファンとして行くべきかを朝から悩んでいた。

私は、幼い頃から野球少年であった。カープファンになったのは、はっきりとは覚えていないが高校か大学の頃だったと思う。その当時のカープは、投手王国で攻撃も「走る野球」というちょっとマニアックな面はあるが、野球をやっている者としては、あの洪さがたまらなかった。近年、カープはBクラスに低迷してから久しいが、私が今の会社に入った頃にはリーグ優勝を果たしている。（歳がばれるが構わない）日本シリーズにも会社を休んで行ったものだ。（懐かしい）

この度、「青年技術士交流委員会の見学会」の話を伺い、是非とも参加し新しい球場がどのように建設されているのか、この目で確かめたいという衝動に駆られた。これは、技術者としてのものか？カープファンとしてのものか？その朝には答えは出なかった。

10:30 広島駅集合、10:30～11:00 で新球場周辺計画の概要と新球場建設について説明を伺った。11:10 待望の見学会。広島駅から新球場までの道のりは、9月というのに暑く、殺伐としたものだった。…途中で何も無い。外観は工事中であったためか特に印象は無い。（今はかなりきれいにできあがっている。）球場内に入って、青い芝が目にもまぶしい。スタンドの勾配は緩く、現在の球場のような狭苦しい印象はなくなっており、いろんな工夫を凝らした席があちこちに配している。「実にすばらしい。」工事期間も短く、芝の養生のために外からのみの施工となるため、大規模なクレーンを順次配して施工の工夫を感じられた。「これもすばらしい。」ということで、見学会は無事終了。

次に現在の球場へ移動。「夢と感動をありがとう」という看板を飾っており、これで見納めだというセンチメンタルな気持ちになる。今日の対戦相手は中日。先発は前田健。なかなか運が良いと思った。その予感的中。広島の前田健がプロ発完封。直球に力があり、変化球の制球力も良く無四球で4安打に封じた。打線は一回に2点先制。六回にアレックスの14号3ランなどで4点、七回にも4点を加え突き放した。「昭和50年のようになってきたね。」「昭和61年も平成3年もこんな感じだったな。」そんな声が飛び交っている。目標へ向け、疾走するチームに懐かしさを覚えた人も多いことだろう。強いから勝つのではなく、勝つから強くなる。



いい流れになってきた。(中国新聞より)

でも、覚えているのは5回くらいまでだろうか？Mリオカさんに焼酎を持ってきていた
だいた時点から脳の記憶回路がショートしたようだ。みんなの笑顔は覚えている。とても
うれしそうにビールを飲んでた。だって、飲み放題だもん。

やっぱり、今日はただのカープファンだった。…と思う。

